

大福レポート

2014年 vol.6



愛媛県議会議員
福羅浩一事務所

〒794-0026
今治市別宮町6-4-19
TEL 0898-34-0202
FAX 0898-34-0203
✉fukura51@excite.co.jp

ふくらまそう オフィシャルサイト
<http://ふくらまそう.net/>



しまなみの輪がつながる。人の和でつなげる。



瀬戸内しまのわ2014 開催中

公式サイト
<http://www.shimanowa2014.jp/>



樋口獅子舞保存会の皆さんと共に(今治春祭りにて)

こんにちは、愛媛県議会議員のふくらまそうです。皆様方におかれましては、お元気で過ごしていることと存じます。愛媛県議会議員として二期目の最終任期8年目を迎えました。お世話になった皆様への感謝の気持ちを忘れず、今後も誠心誠意努力していく所存でございますので、なお一層のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

さて、皆様方のお蔭をもちまして、昨年の参議院議員選挙では自民党が65議席を獲得し、衆参のねじれが解消されました。いわゆる国益を第一義とした「決められる政治」を推し進めていく体制が整いましたが、我々は圧倒的に勝ることなく、常に初心に返り、「謙虚かつ丁寧な政治姿勢」のもとに国民の負託にこたえられる政治を行っていく必要があると考えております。何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

県内におきましては、今年度はアベノミクスの期待感を「実感」へと具現化するための経済政策推進を最重要課題とし、県内における消費の拡大や、企業収益の増加及び賃金の上昇につながる「実需」の創出に全力を挙げていく所存であります。

中でもご案内の通り、本年3月より「瀬戸内しまのわ2014」が開催されており、この機会にしまなみ地域の魅力を国内外に広く発信し、しまなみ地域に活力をもたらす活動を今後も皆様と共に進めていきたいと思います。

今年度は、議会においては農林水産委員長及びスポーツ推進事務局長、自民党県連においては青年局長、自民党今治支部長を拝命いたしました。

常に「県民目線」を忘れず、より一層、県政諸課題に積極果敢に取り組んでいく所存でございますので、変わらぬ皆様方のご支援ご協力を衷心よりお願い申し上げます。

愛媛県議会議員
福羅浩一 拝

平成26年度 愛媛県当初予算 合計 8,143億3,100万円

～ 今治市・上島町の主な予算内容 ～

- 瀬戸内しまのわ2014 実施事業費 1億2,336万円
観光ブランド力の向上や観光客誘致促進を図るため、広島県等と連携して「瀬戸内しまのわ2014」を開催する。
- しまなみ海道・国際サイクリング大会 実施事業費 1億3,004万円
しまなみ海道の魅力を国内外に広く発信するため、広島県等と連携し、「瀬戸内しまのわ2014」のメインイベントとなる世界的規模のサイクリング大会を開催する。
- しまなみサイクリング誘客促進事業費(東予地方局) 266万円
しまなみ地域のサイクリング振興による交流人口の拡大を地元への経済効果の発現に結び付けるため、滞在型のサイクリング・ツーリズムの具体化を図る。
- 新繊維産業技術センター試験研究機器整備事業費 5,489万円
新繊維産業技術センターを拠点に繊維産業の振興を図るため、商品の開発や改良等に要する機器を整備する。
- 繊維商品高付加価値化支援事業費 498万円
新繊維産業技術センターを拠点に繊維産業の振興を図るため、付加価値の高い商品開発や中核人材の育成支援、体験学習等を通じた産地技術の情報発信を行う。
- 上島架橋整備事業費 2億9,400万円
上島地域の離島性を解消し、定住促進や産業経済の活性化を図る。
- 今治小松自動車道周辺整備対策費 1,585万円
今治小松自動車道の建設に伴い、周辺道路や排水等に影響が発生するため、生活基盤及び生活環境の整備を実施する。
- 県管理ダム小水力発電設備整備事業費 1億6,736万円
環境負荷が小さく、エネルギー源の多様化に資する小水力発電を、玉川ダムに導入するため設備の整備を行う。

地域の皆様の「声」を背負って

平成26年3月5日
第336回 愛媛県議会本会議 一般質問

①しまなみ海道の自転車通行料金の無料化については、費用負担や実施時期を含め、今後どう取り組むのか。

(中村知事)

しまなみ海道の自転車通行料金の無料化については、去る2月6日に、広島県知事と共に太田国土交通大臣を訪ね、地元負担を前提とした無料化の実現と、負担軽減への積極的な支援を要望し、大臣からは、昨年10月の国際サイクリング大会を成功裏に終えた「地元努力」を評価されたうえで、「無料化の実現に向け調整するよう、直ちに本州四国連絡高速道路株式会社(本四会社)に指示をする」との積極的な発言をその場でいただいた。長年の懸案であった無料化に向け、大きく前進したことは、大変うれしく思っている。

現在、本四会社と地元自治体において、負担額や負担割合

合等を含めた無料化の仕組みを具体的に検討しているところであるが、このうち地元負担については、景観に配慮しながら、しまなみ海道沿線に企業PRの広告看板を設置し、その広告料収入を負担の一部に充てるなど、民間からの支援をいただくことも検討している。

また、無料化の実施時期については、今後、制度設計や事務手続きを経て、今年の夏休み前には是非とも実現したいと考えており、「瀬戸内しまのわ2014」の集客力アップや、最大のイベントである「国際サイクリング大会」の一層の盛り上がりにも繋げていきたいと思う。

この無料化により、しまなみ海道が名実ともに世界に誇れる「サイクリストの聖地」として、益々魅力が高まるとともに、本県が推進する「愛媛マルゴト自転車道構想」に弾みがつき、ひいては観光振

②しまなみ海道を含む本四高速の新料金体系の実施見通しと、今後の利用促進に向けた取り組みはどうか。

(土木部長)

先月発表された本四高速を含む新たな高速道路の料金案は、昨年12月に国が公表した「新たな高速道路料金に関する基本方針」に沿ったものであり、県としては、予定どおり、4月1日からの実施に向け、手続きが進められているものと認識している。

この新料金案では、本四高速は、全国料金プール制に編入され、全国から支援を受け形となるが、今や全国高速道路ネットワークの一部となっていること、また、本四関係10府県市が長年に亘り出資を行ってきたこと、更には、近年、本四の交通量や収入が増加の傾向にあることなどを踏まえると、国民の理解は得られるものと考えている。

県では、新料金体系のもと、これまで以上にしまなみ海道を利用していただく必要があると考えていることから、「瀬戸内しまのわ2014」や「国際サイクリング大会」を最大限に活用し、観光振興や地域活性化に努めるとともに、広島県をはじめ関係自治団体等と様々な分野で相互に連携・協力しながら、より一層の利用促進に向け、鋭意取り組んでまいります。

②地域活性化のためには高速通信網の整備とICTの有効活用が必要と考えるが、今後どう取り組むのか。

(東倉企画振興部長)

地域の格差や様々な課題を解決し、地域活性化を図るうえで、情報通信基盤の整備とICTの活用は有効な手段であることから、これまで、県では、民間通信事業者による光ファイバーの整備を基本に、地元市町等の要望を踏まえ、国の支援制度を活用しながら超高速ブロードバンドの整備に努めてきたところであるが、ご指摘のとおり、山間部や島しょ部の一部では未だ整備がなされていない現状にある。

このため、通信事業者や学識経験者、国・県・市町で構成する県ICT推進会議において、コスト低減が見込まれる無線通信基盤の整備を事業者に働きかけることにも、市町に対しては、先進事例等を紹介し、ICTの積極的な活用を促しているところである。

また、過疎地域のうち、ICTを活用した地域活性化のニーズが高い所を対象に、市町や地域おこし協力隊と連携しながら、生活、医療、産業等、その地域固有の課題の解決策を協議していくこととしており、今後ともこうした取り組みを推進しながら、高速通信網の整備とICTの有効活用を積極的に図ってまいります。

